

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

| | |
|---------------|--|
| (1) 公の施設の名称 | 倉敷市真備ふるさと歴史館 |
| (2) 指定管理者 | 所在地 倉敷市茶屋町399番地8 名称 岡田藩史研究会 代表者 代表者 森脇 清 |
| (3) 公の施設の所管部署 | 倉敷市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課 |
| (4) 評価対象期間 | 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで |

2 総合評価結果

| | | |
|----------------|---|------|
| (1) 市の評価 | 館内の美化，新型コロナウイルス感染症対策の徹底や市の観光イベントへの協力など，良好な管理運営ができています。利用者数は減少しているが，要因として，新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館などが大きく影響していると考えられる。アンケート調査における「全体の満足度」は，回答した全ての人が満足・ほぼ満足としており，高く評価できる。今後も引き続き良好な管理運営を期待する。 | 総合評価 |
| | | S |
| (2) 指定管理者の自己評価 | <p>本年度は新型コロナ感染症防止のため，4月20日から5月20日まで閉館。開館時には，室内換気・換気扇の常時運転・館内の消毒・ロビーの椅子の間隔に配慮等の措置をとって，安全で気持ちよく入館していただけるように努めた。</p> <p>既に解説された古文書や先覚者の整理された書類を中心に見直し，今後の展示に備えた。岡田藩古文書をロビーに展示するなど興味を引くよう工夫した。</p> <p>岡田小学校児童の「論語の学習」では，コロナ禍の中での学習のため同小と話し合い，密にならないよう同小体育館で実施した。また，真備東中学校生徒の校外学習では，横溝正史や金田一について調べるグループへの支援をした。校内発表のために金田一の衣装を貸し出したのが好評であったとのこと。</p> <p>管理者は常に情報を交換し合うとともに，観光課のイベントに協力したり，疎開宅と連携し合ったりして，スムーズな運営に努めた。</p> | |
| (3) アンケート結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> 来館者は市外からの来館者が約6割で，初めて来館した人は6割以上であった。 全体の満足度，施設の清潔度，安全対策については，全ての人が「満足」「ほぼ満足」と回答した。 | |

3 施設の利用状況

| | |
|-----------|----------------------------------|
| (1) 利用者数 | 前年度入館者数 2,892人 今年度入館者数 1,457人 |
| (2) 事業の内容 | 倉敷市真備ふるさと歴史館の管理運営に関すること |

4 収支

| | |
|------------------------------|---|
| <p>(1) 収入 (指定管理者の収入)</p> | <p>総額 924,701円 市からの指定管理料(委託料) 904,000円 自主事業収入 20,700円 利息 1円</p> |
| <p>(2) 支出 (指定管理者の支出)</p> | <p>総額 858,060円 主な支出 人件費 800,000円 消耗品費 37,908円 施設損害賠償保険料 5,000円 自主事業費 12,000円 会議費 3,152円</p> |